

『もりおかの短歌』

秋の部 優秀賞十首

ああここは

たくぼく まち

啄木の町

たくぼく なや

啄木の悩みを空が受け止めていた

そら う と

東京都小平市 萩原 慎一郎

たひびと

旅人の

われ

我をやさしく迎えたり

むか

えき たくぼく もじ

もりおか駅の啄木の文字

宮城県仙台市 沼沢 修

いつの日も凜と聳ゆる岩手山

ひ りん そび いわてさん

めげずに生きよと

い

鼓舞する如く

こぶ ごと

青森県青森市 鈴木 操

たくぼく

啄木の

りゅうり

ひび

おも

流離の日々を思ひつつ

かいうんばし

た

開運橋のたもとに立てり

千葉県市川市

長田

強子

ごうりき ふとばちたいこ

強力の大砲太鼓

な ひび

鳴り響き

あおぞらたか

もりおか

だし

青空高し盛岡の山車

岩手県盛岡市

三澤

信裕

とち

み

ひろえ

ば

枋の実を拾えば

どうしん

かえ

て

しばし童心に還してくれる

うちまるとお

内丸通り

岩手県盛岡市

中島

久光

るじ

あ

もりおかの路地うら歩るき

おも

だ

思い出す

たくぼくき

わか

ころ

啄木気どりの若かりし頃

岩手県盛岡市

赤坂

昌信

咲き揃う

みちゆ

マリーゴールドの径行けば

じょうこうじ こぶ おいすぎたか

常光寺の瘤の老杉高し

岩手県盛岡市 小林 貴史

城跡の空にそびえる大木に

しろあと そら たいぼく

道を尋ねる

みち たず かぜ たびびと

風の旅人

秋田県大仙市 藤田 直樹

「からめ節」

ざるも おど けいろうかい

箆持て踊る敬老会

きんほ どうさいま つた

金掘る動作今に伝へし

岩手県盛岡市 掘米 公子

〔講評〕岩手山、盛岡祭の山車、内丸通りの枡の実、盛岡城跡、からめ節などバラエティに富む作品群。中でも啄木に思いを寄せる歌が半数を占め、没後百三年、なお啄木ファンの多いことが分かります。

※今回審査の結果、ジュニア部門の優秀賞は、該当がありませんでした。

平成二十七年十二月選 秋の部

投稿数 百 首

選者 八重嶋 勲